

い やいちこう さ ぼうえんてい
熊野1号砂防堰堤



Ver.1 (2022年10月) 紀伊半島大水害からの復興シリーズ 8

CIOtSc

SABO-DATA

所在地:和歌山県田辺市

河川名:日置川水系熊野川

形式:不透過型砂防堰堤(重力式)

規模:堤高14.5m/堤長145.7m

施行者:国土交通省

着工/完成:平成25年(2013)1月

平成28年(2016)2月



平成23年9月災害時の状況

基本情報

和歌山県田辺市の熊野地区は、平成23年9月の台風第12号(紀伊半島大水害)により、斜面が崩壊し、約526万m³の土砂が河道を閉塞し、湛水池を形成しました。越流・決壊等の危険性を低下させるため、緊急対策として湛水池の埋立て、河道閉塞部(堆積土砂)の浸食を防止するための排水路工設置等を実施しました。その後、河道閉塞部の脚部を固定し不安定土砂が下流へ流出することを防止するため、排水路工の末端部に基幹となる「熊野1号砂防堰堤」を整備しました。

こだわりの技術

本砂防堰堤は、不安定な堆積土砂上に配置することから、堤体の安定を図るため地盤改良を行い、堰堤構造は沈下に対応するためスライドが可能な「ダブルウォール+二重矢板構造」を採用しました。矢板施工においては巨大な転石が混在し打ち込みが困難なことから、「オールケーシング工法」による先行掘削を行ったうえで地中に矢板を打ち込みました。また、地盤改良材、堰堤内部材には現地発生土とセメントなどを現場内で攪拌混合した「砂防ソイルセメント」を活用しました。